

平成 28 年度
佐渡市地域公共交通活性化協議会
事業計画（案）

- | | |
|--------------------|-----------|
| 1. 調査事業 | ・・・ P 1 |
| 2. 公共交通利用促進事業 | ・・・ P 1 |
| 3. 観光二次交通事業 | ・・・ P 2～3 |
| 4. 低床型車両導入費補助 | ・・・ P 3 |
| 5. 車両ラッピング費補助 | ・・・ P 3 |
| 6. 高齢者路線バス運賃割引サービス | ・・・ P 4 |
| 7. 高齢者運転免許証返納支援事業 | ・・・ P 4 |
| 8. 赤泊航路対策事業 | ・・・ P 4 |

1. 調査事業

平成27年度調査事業の結果に基づき、「地域公共交通再編実施計画」の策定を見据え、各種調査を実施する。

(1) 国中エリアの幹線再編の影響調査

国中地域の路線再編について意向調査及び影響調査をアンケート調査により行う。

- ・調査対象：各年代層から無作為に抽出した市民 3,000名（回収見込み50%）
- ・調査内容：路線再編(案)を提示し、再編後の利用意向や課題を把握する。

(2) 相川観光循環バスの市民利用調査

平成27年度に運行開始した相川観光循環バスを継続して運行する。

平成27年度調査で要望のあった平日運行について、8月は毎日運行し利用動態を調査し、観光客だけでなく市民の生活交通としての利用動向を調査する。

2. 公共交通利用促進事業

(1) バス乗り方教室の実施

保育園児を対象にバスの乗り方教室を実施し、園児及びその保護者から路線バスへの関心を深めてもらい利用に繋げる。

- ・実施日：平成28年9月20日（火）、10月20日（木）
- ・対象：公募により募集する4園の園児
- ・内容：路線バスの乗り方説明、路線バス乗車体験、バス運転席体験
記念撮影、記念品配布など

(2) ワンコインバスの実施

ワンコインバスを実施し、路線バスの利用促進を図る。上記の乗り方教室のイベントに併せて実施する。

- ・実施日：平成28年9月21日（水）、22日（祝日）
10月21日（金）、22日（土）
- ・対象路線：島内路線バス全路線
- ・内容：1乗車100円の特別運賃の実施
広報誌、ホームページ、チラシ等による広報周知

3. 観光二次交通事業

(1) 観光二次交通の確保

路線の一部を観光施設へ延伸または迂回し観光客等の利便性向上、周遊性の向上を図る。

- ・ 運行期間：平成28年4月1日～11月30日
- ・ 対象路線：本線（佐渡金山、相川郷土博物館、佐渡奉行所）
南線（トキの森公園、大膳神社、妙宣寺、国分寺、佐渡歴史伝説館）
海府線、七浦海岸線（尖閣湾）
小木線（西三川ゴールドパーク、佐渡歴史伝説館）
宿根木線（宿根木、太鼓体験交流館）

(2) 小木港からの二次交通の確保

小木港からの観光客の利便性確保のため延伸または迂回する。

小木線：汽船接続便の2往復について相川まで延伸する。

宿根木線：観光施設の太鼓体験交流館を迂回し、ジオサイト活用のため江積まで延伸する。

(3) 相川観光循環バスの運行確保

平成27年度に運行開始した相川観光循環バスを継続して運行する。

佐渡金銀山の世界遺産登録を見据え、殺到するマイカーでの混雑解消のためのパーク＆ライドの広報周知を行う。

- ・ 運行期間：平成28年4月29日～5月8日（ゴールデンウィーク）
7月中の土日祝日、8月中の毎日
- ・ 運行便数：1日10便
- ・ 運賃：1乗車200円、1日乗り放題フリーパス500円
1家族1日乗り放題家族パス1,000円、既存フリー乗車券も利用可能
- ・ 広報周知：新潟交通佐渡ホームページ、佐渡観光協会ホームページ、チラシ等で相川観光循環バス及びパークアンドライドの周知を行う。

(4) 利用促進PR

観光二次交通路線の利用促進及びフリー乗車券の販売促進を図るため印刷物、のぼり、ホームページ等によるPR活動を行う。また、急増する外国人旅行者への利便性向上のため、多言語化への対応を行う。

○各種広告物の制作等

- ・フリー乗車券の販売促進
- ・観光二次交通パンフレットの制作
- ・ホームページより効果的なPR

○多言語化への対応

- ・車内アナウンス英語対応路線の拡充
七浦海岸線の英語対応（本線・南線・小木線・相川観光循環バスで英語対応済み）
- ・バスマップ（平成27年度、英語、中国語版を制作）
平成28年度はホームページへの掲載を検討
- ・交通拠点での誘導サイン（一部実施、継続して取り組む）
平成28年度 相川支所ターミナル、佐和田バスステーションを計画
- ・WiFi対応
主要な乗換え拠点におけるWiFi環境の整備について検討
平成28年度 佐和田バスステーションを計画

4. 低床型車両導入費補助

事業者の低床型車両の導入を支援し、島内路線バスのバリアフリー化を促進する。

- ・補助率及び補助上限：1/2、1台あたり2,000千円
- ・台数：1台
- ・低床化率：現状28.8%（15台/52台）⇒目標32.7%（17台/52台）

5. 車両ラッピング費補助

事業者が行う車両ラッピング費用等について補助し、路線バスの魅力向上を図る。

- ・補助率及び補助上限：10/10、1台あたり1,000千円
- ・台数：1台
- ・内容：3資産をテーマとし、夏休み期間中に市内
小学1年生～3年生を対象にデザインを募集

※参考：平成27年度の実施状況

- ・夏休み期間中に市内小学3年生～6年生から募集。
- ・207点の応募があり、優秀作品3点をラッピング施工



（平成27年度 表彰式）

佐渡市地域公共交通活性化協議会と連携して実施する市の事業

6. 高齢者路線バス運賃割引サービス

平成27年度から高齢者路線バス運賃割引サービスを拡充したところ登録者は増加し、アンケート結果からも評価が高いため平成28年度も継続する。

- (1) 対象者 佐渡市内に在住する70歳以上の方
- (2) 内容 路線バスを1乗車200円で何回でも利用可能
- (3) 登録者数 6,541人(平成27年12月末)

高齢者運転免許証返納支援事業との連携や利用周知により登録者数の増加を目指す。

7. 高齢者運転免許証返納支援事業

佐渡市は新潟県内でも高齢者の事故発生率が高く、運転免許証の自主返納者に対する支援制度を創設し、公共交通の利用促進と交通安全の推進を図る。

- (1) 対象者 平成28年4月1日以降に運転免許証を自主返納した70歳以上の方
- (2) 内容 市内のバス・タクシー共通利用券10,000円分と温泉割引券を交付
- (3) その他 自主返納を証明する書類の提示で受けられる特典等の付与

・運転免許証返納者数(全部返納)

	平成26年	平成27年 (11月末実績)	平成28年 (目標)
運転免許証返納者数 (全部返納)	43人	72人	125人

8. 赤泊港二次交通確保対策事業

赤泊港への公共交通を確保し、航路の活性化及び利便性向上を図る。

- (1) 対象者 寺泊赤泊航路を利用する観光客等
- (2) 内容 主に観光客の利用が見込まれる航路ダイヤに接続する二次交通を確保するため、以下のとおり取り組む。

・赤泊港着便への対応

路線バス前浜線のダイヤを変更し、小木港発の小木線(相川行き)へ接続する。

・赤泊港発便への対応

赤泊航路利用者に関し、小木港⇒赤泊港間のタクシー運賃の一部を補助する。



■再編実施メニュー ①(国中エリアの幹線の再編比較検討)

	案1 本線・南線の統合環状線化による見直し	案2 南線の見直し(佐渡総合病院乗り入れ)
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ○幹線(本線・南線)の利便性の向上 ○補助制度の活用による財源確保 	
事業の内容	<p>本線と南線を再編して環状線を軸にした高頻度運行を行う。 ただし、但し、相川～佐和田区間は汽船利用者に配慮し、現状の相川～両津港、汽船接続の運行は確保する。</p> <p>【イメージ】</p> <p>※佐和田・両津を基点として 時計周りと反時計回り</p>	<p>南線からの佐渡総合病院の利便性を確保するため、皆川を経由する総合病院ルートを追加し、利用者増加を確保する。</p> <p>【イメージ】</p>
メリット	<ul style="list-style-type: none"> ○国中エリアの利便性向上(おでかけ環境の創出) ○幹線を統合し、地域間幹線化(国庫補助路線化) ○相川～佐和田間は地域内フィーダー(国庫補助) 	<ul style="list-style-type: none"> ○南線沿線の住民、主要拠点からの総合病院への利便性向上 ○佐渡総合病院を乗換え拠点とした利便性向上
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> ○佐和田～相川間の直通運行頻度が減少 (現状では本線利用者の約25%が佐和田をまたいで利用) ○南線エリアから総合病院までの乗車時間が長い 	<ul style="list-style-type: none"> ○南線の両津～真野間の利用者の乗車時間が長い (佐渡病院迂回により往復約16分の増加)
課題	<ul style="list-style-type: none"> ○本線分断の影響への配慮(利用実態に即した本線ルートでの運行) ○南線分断の影響への配慮(中等教育学校への通学確保) ○乗換え拠点における郊外部を結ぶ支線からの乗り換え利便性の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ○国庫補助路線への移行検討(乗車密度の向上により県補助から国庫補助へ) ○学生通学時間への配慮 ○運行経路の重複する国仲・金丸線との調整

■再編実施メニュー ②(相川観光循環バスの生活交通との連携)

現 状


相川地域では、相川観光循環バス（期間限定）と相川病院バスを運行し、来訪者と地域住民の足を確保している。

【相川観光循環バス】
 世界遺産登録を目指す相川地域（観光エリア内）の充実を図るため、佐渡市役所相川支所ターミナルを基点に、佐渡金山を巡る循環バスを運行している。

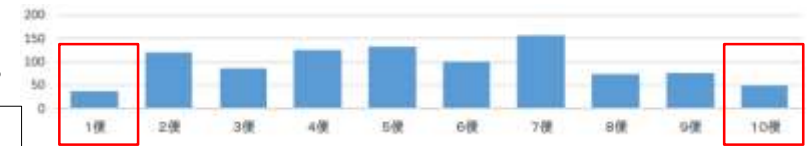
- ・期間限定（4/25～9/27）で土・日・祝日運行
- ・1乗車200円、1日乗り放題500円、ファミリーパス＝1家族1,000円（1 day、2 day、3 dayフリーパスの利用可）

■アンケート調査における循環バスの要望

- ・運行便数：概ね満足感あり
 少ない 20%
 普通 44%
 十分 20%
- ・平日運行への要望も多い



・1便 9:30と10便 16:00の利用が少ない。



便別の利用状況


【バス利用患者数(相川病院マイクロバス・新潟交通(H27.4～9))】
 本線は4月～11月の土日祝日及び8月の全日、七浦海岸線は平日に佐渡金山まで延伸運行

■病院マイクロバス

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
二見地区	208	186	197	217	177	204	1,189
町内	145	142	152	130	214	131	914

■新潟交通路線バス

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
高千・外海府地区	265	230	271	274	235	237	1,512
二見地区	21	36	45	48	55	57	262



相川観光循環バス ルート

相川病院患者輸送バス ルート

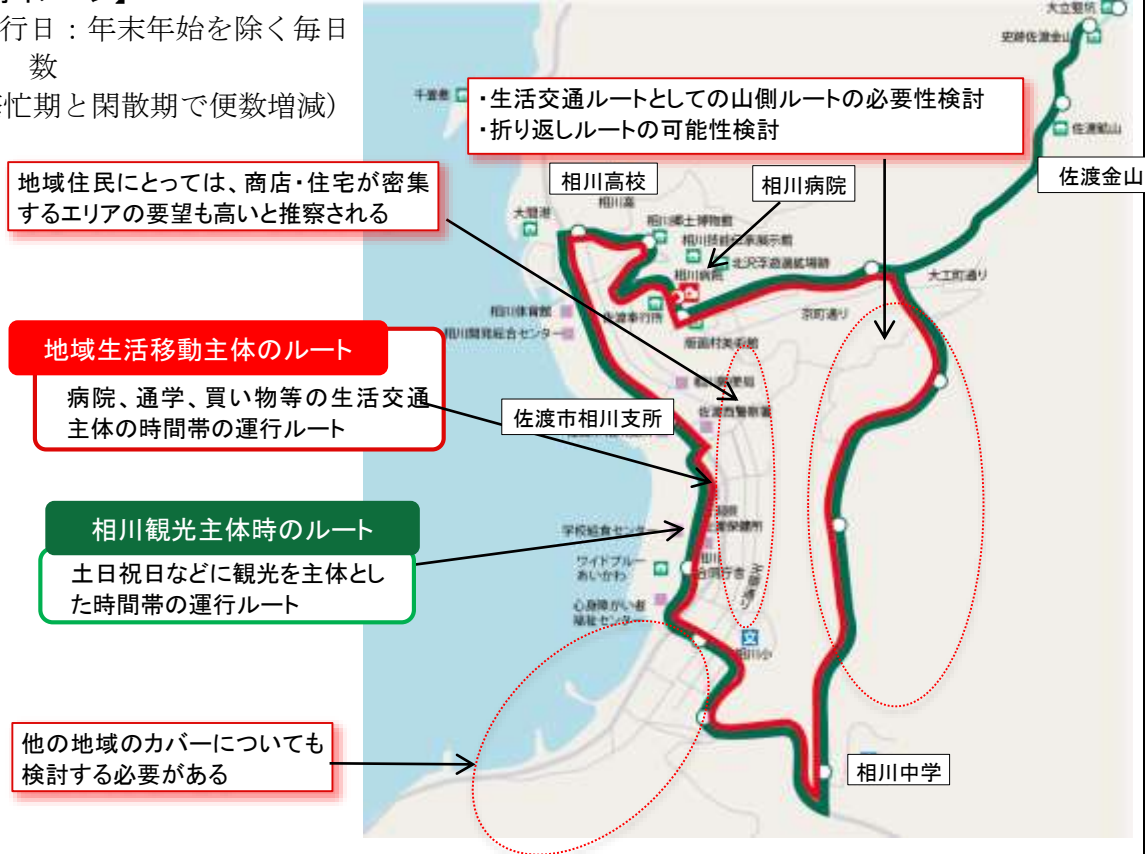
生活交通と連携した相川観光循環バス

事業の目的
 地域住民の買い物・通院などの生活交通に寄与するとともに、世界遺産登録を目指す相川地域（観光エリア内）のさらなる充実を図るため、現行の本線・七浦海岸線、相川観光循環バス、相川病院マイクロバスを相川地域の循環線として路線再編する。

事業の内容

【運行イメージ】

- ・運行日：年末年始を除く毎日
- ・便数（繁忙期と閑散期で便数増減）



・生活交通ルートとしての山側ルートの必要性検討
 ・折り返しルートの可能性検討

地域住民にとっては、商店・住宅が密集するエリアの要望も高いと推察される

地域生活移動主体のルート
 病院、通学、買い物等の生活交通主体の時間帯の運行ルート

相川観光主体時のルート
 土日祝日などに観光を主体とした時間帯の運行ルート

他の地域のカバーについても検討する必要がある

メリット

- 観光を主目的に運行されている現状の相川観光循環バスについて、病院、通学、買い物等の生活交通としての活用が期待できる。
- 毎日、運行することにより、佐渡金山をめぐる観光客のさらなるニーズに応え、利便性向上につながる。

課題

- バスの運行ルート、運行計画の検討
 - ・時間・曜日による運行経路の変更、需要に応じた便数の精査。
 - ・地域にとっては羽田商店街、天領通りなどを運行するルートが好ましいが大型バスは運行できないという課題がある。県道沿いをルートとする場合のアクセス性などの検討。
- 循環バスと車やレンタサイクル、徒歩等の連携した周遊可能なネットワークの構築、乗り換え拠点となる相川支所の拠点性の強化など
- 無料の相川病院患者輸送バスから有料の循環バスへ移行する場合の影響

